



竹田市菅生でスイートコーンが収穫期を迎えています。

① 竹田市内では何戸の農家がスイートコーンを栽培していますか？また、栽培面積は何^{ヘクタール}でしょう？

約150戸の農家がハウスと露地計200^{ヘクタール}で栽培している。

② スイートコーンの収穫作業が早朝から行われるのはなぜですか？

実が夜間に糖分を蓄えるため。

③ 今年のスイートコーンの甘さはどんな具合でしょう？

糖度は21で、フルーツ並みの甘さになっている。

④ 今季の出荷量はどれくらいになる見込みですか？

約1,300^{トン}になる見込み。



甘味が詰まったスイートコーン 竹田市菅生

竹田市菅生でスイートコーン収穫期

甘いよ“黄色い真珠”

収穫はハウス物が6月上旬に始まり、7月から露地物へと移る。8月中旬まで続く。
卯野農場(卯野英治代表)はハウス30^{ヘクタール}、露地35^{ヘクタール}で栽培。実は夜間に糖分を蓄えるため、収穫作業は朝6時ごろから始め、近くの道の駅すこうに卸している。同農場でのハウス栽培は

初めて。フィリピンからの外国人技能実習生らと作業に励む卯野代表(71)は「大蘇ダム(熊本県産山村)が完成し、安定して水を確保できるようになった。甘味の詰まった実ができた」と笑顔。糖度は21度という。菅生地域は標高500^{メートル}を超える高原地帯。昼夜の寒暖差が大きく栽培に適し

今年には新型コロナウイルスの影響で、恒例の「竹田市とうきびフェスタin菅生」は中止になった。(原田宏一)

「とうきびフェスタ」中止

【竹田】竹田市菅生でスイートコーンが収穫期を迎えた。今季も天候に恵まれ、フルーツ並みの甘さになったという。生産者は早朝から作業に追われている。



スイートコーンを収穫する外国人技能実習生